



創刊した広報誌「NCU Histreet」を手に大学史資料館に立ち寄る学生

### 特集

特集① 令和4年度 **新体制発足!**

特集② 令和3年度 **卒業式・修了式**、令和4年度 **入学式** を行いました

特集③ 名古屋市立大学大学史資料館広報誌「**NCU Histreet**」を創刊しました

01 特集①

04 特集②

05 特集③

06 TOPICS

08 表彰関連／受賞関連

09 学生の活躍

11 イベントカレンダー／国際交流／寄附顕彰

### DONATION

あなたの力が支えます  
**ご寄附のお願い**

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：総務部 総務課  
tel.052-853-8005

# 令和4年度 新体制発足！

名古屋市立大学の理事長である郡健二郎先生、2022年4月から新たに学長に就任された浅井清文先生のおふたりにお話を伺いました。

SP

## INTERVIEW

理事長・郡健二郎先生に、名市大の新たな展開に向けて今後の未来像をお聞かせいただきました。



理事長  
郡 健二郎

## 社会状況の変化を的確にとらえ 明るい未来に向かって歩んでまいります

名市大は、皆さまからのご支援のもと、2年前に開学70周年を迎え、7学部7研究科からなる総合大学として発展を遂げてまいりました。学部の壁を越え、教職員が一体となり、優れた人材を育成し、先端的研究を世界に発信し、先進医療の提供に努めています。

先達が築かれた輝かしい歴史と伝統を踏まえ、来年4月には、新たな事業を多岐にわたり展開いたします。1) 滝子・田辺通キャンパスの新校舎棟建設の設計、2) データサイエンス学部(仮称)の開設、3) 看護学部への市立中央看護専門学校の統合、4) 救急・災害医療センター(仮称)の建設(令和7年完成)、5) 緑市民病院、厚生院附属病院を加えた5大学病院の誕生(国公立大学で最大規模)などです。これ

らの新規事業を通して、名市大はさらに進化してまいります。

名市大は社会貢献にも注力しています。その結果、「大学の地域貢献度調査2021(日経グローバル)」では全国1位に、大学のSDGsの取り組みを可視化した「THEインパクトランキング2022」でも過大な評価を得ました。また、本学の活動がメディアに取り上げられた件数は、この4年間で約4倍に増えています。これもひとえに教職員・学生の活躍と名古屋市からの支えによるものです。

名市大は、大学を取り巻く社会状況の変化を的確にとらえ、明るい未来に向かって歩んでまいります。皆さまからの温かいご支援を引き続きお願い申し上げます。

## 新体制紹介



副理事長・事務局長  
丹羽 吉彦



理事・副学長(研究・産学官イノベーション)  
今泉 祐治

学長補佐(産学官連携・知財)  
森田 明理(医学研究科教授)

学長補佐(研究力強化)  
服部 光治(薬学研究科教授)

学長補佐(スタートアップ・イノベーション)  
鵜飼 宏成(経済学研究科教授)

# SPECIAL TOPICS

## INTERVIEW

新学長となられた浅井清文先生にお話を伺いました。



副理事長・学長  
浅井 清文

## 本学が「知の拠点」であり続けるために イノベーションの実現に努めます

本学では令和4年度より理事長とは別に学長が設置されることとなりました。第18代学長として、本学の研究・教育のさらなる発展のために精一杯努力していく所存でございます。

大学の最大の営みは知的創造にあります。本学が「知の拠点」であり続けるために、異分野融合型の革新的な研究の推進や社会課題・社会ニーズをベースとしたイノベーションの実現に努めます。また、魅力的な研究環境の構築や研究費のさらなる獲得にも取り組み、本学の研究力の一層の向上に努めます。

教育においては、目まぐるしく変化する現代において、社会に出てからも自ら課題を解決する力を持った「自律的学習者」の育成が大学の重要な使命です。とりわけ、社会的な課

題であるSDGsやダイバーシティについては、全ての学生が学び、理解し、個人の行動変容につなげてほしいと思います。

昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大は、否応なしに大学の授業形態の変更を迫りました。新型コロナウイルス感染症終息後も、元の形態に戻ることなく、対面とオンラインのハイブリッド形式での講義が全国の大学で定着していくと思います。この時流に遅れることなく、教育分野におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)を進めてまいります。

名市大のさらなる発展のため、教職員一同、弛まぬ努力を重ね、大学の理念の実現に向けて邁進してまいります。



理事・副学長(教育)  
伊藤 恭彦  
(人間文化研究科教授)



副学長(高等教育院・キャリア支援)  
高石 鉄雄  
(理学研究科教授・高等教育院長)

学長補佐(入試・高大接続)  
平嶋 尚英(薬学研究科教授)

学長補佐(学生)  
森田 雄一(経済学研究科教授)

学長補佐(交流会・後援会)  
山本 明代(人間文化研究科教授)



理事・副学長(経営・キャンパス整備)  
吉田 和生(経済学研究科教授)

学長補佐(キャンパス整備基本計画)

鈴木 賢一(芸術工学研究科教授)

学長補佐(キャンパス間 連携調整)

水野 みか子(芸術工学研究科教授)



理事(市大病院)  
間瀬 光人  
(医学研究科教授・附属病院長)



理事(東部医療センター)  
大手 信之  
(附属東部医療センター病院長)



理事(西部医療センター)  
大原 弘隆  
(医学研究科教授・  
附属西部医療センター病院長)

学長補佐(感染対策)

村上 信五(高次ウイルス感染症センター長)

学長補佐(感染対策)

小黒 智恵子(高次ウイルス感染症センター副センター長)

学長補佐(厚生院研究教育・リハセン)

森田 明理(医学研究科教授)

学長補佐(病院薬品調達)

木村 和哲



副学長(社会貢献)  
明石 恵子  
(看護学研究科教授)



副学長(国際)  
横山 清子  
(芸術工学研究科教授)



副学長  
(自己点検・評価・中期計画)  
道川 誠  
(医学研究科教授)

学長補佐(SDGs)

林 秀敏(薬学研究科教授)

学長補佐(ダイバーシティ)

窪田 泰江(看護学研究科教授)

学長補佐(ワークライフバランス)

久保田 健市(人間文化研究科教授)

学長補佐(広報)

飛田 秀樹(医学研究科教授)

学長補佐(総合情報・DX推進)

湯川 泰(理学研究科教授・総合情報センター長)

特命学長補佐(関連病院アライアンス再編)

城 卓志(非常勤)

理事(財務)

加藤 博(非常勤)

理事(知財活用連携)

佐々木 剛史(非常勤)

監事

宮崎 真(非常勤)

監事

前田 篤(非常勤)

# 令和3年度卒業式・修了式、 令和4年度入学式を行いました

本学から、1,024名(学部生831名、大学院生193名)の卒業生が巣立ち、新たに1,146名(学部生902名、大学院生244名)の入学生が本学の門をくぐりました。令和3年度卒業式・修了式、令和4年度入学式は、感染症対策を徹底したうえで、式典の様子のライブ配信を行い、関係者をはじめ、保護者や地域の方々に見守られながら執り行いました。

## ～学長よりお祝いメッセージ～ ※卒業式・修了式、入学式の式辞より抜粋。



### 令和3年度 卒業式・修了式

＜郡健二郎学長＞

卒業生の皆さま、またご家族の皆さま、ご卒業おめでとうございます。

梅は、毎年12月ごろに小さな蕾をつけ、その後の2か月間はひたすらに北風に耐えながら栄養を蓄え、立春の訪れとともに一気に咲き誇ります。この梅の成長から、私たちが学ぶことは、大きく成長するには忍耐をもって努力する期間と、受粉を助けてくれるような協力者が必要であることです。

皆さんは、今はまだ蕾の状態ですが、ご卒業後、大志を抱き、知識・経験・精神力を蓄えることで、社会で大きく羽ばたかれることを確信しています。その思いを込めて「凌雲之志」を揮毫しました。雲を凌ぐような大志を抱き、世のために役立つ人になってください。



式典の様子はこちらから  
ご覧いただけます→

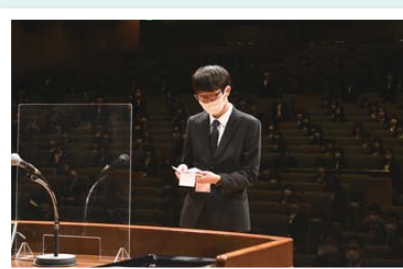
### 令和4年度 入学式



式典の様子はこちらから  
ご覧いただけます→

＜浅井清文学長＞(令和4年4月1日より就任)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。名古屋市立大学が皆さんの第二の家庭となった今、温かい家庭に愛と誇りがあるように、皆さんには名市大を愛し、名市大の学生としての誇りを持っていただきたいと思います。今日の社会は予測不能とも言える時代を迎えております。その中であって国内だけでなく、国際的にも認められていくためには、自ら高い目標を設定し、常に成長していかなければいけません。名市大に入学された皆さんが、輝かしい未来に向かって大きく歩まれることを心より祈念いたします。



# 名古屋市立大学大学史資料館広報誌

ヒストリート

## 「NCU Histreet」を創刊しました



### NCU Histreet 創刊にあたって

本学の歴史や大学史資料館の活動について、より多くの方々に知っていただくことを目的に、名古屋市立大学大学史資料館広報誌「NCU Histreet(ヒストリート)」を2022年3月に創刊しました。この「ヒストリート」というタイトルは、「歴史=ヒストリー」と「気軽に立ち寄れる通りおよび名市大の将来につながる道=ストリート」を組み合わせた造語であり、長く楽しんでもらえるような広報誌となるようにとの思いを込め、大学史資料館館長の阪井芳貴教授に名付けていただきました。

本学滝子キャンパスの大学史資料館にて配布するとともに、本学ウェブサイトに掲載しておりますので、皆さまぜひご一読いただき、名市大の歴史に触れてみてください。



NCU Histreet 創刊号



大学史資料館館長  
人間文化研究科 教授  
阪井 芳貴

### 大学史資料館館長からのご挨拶

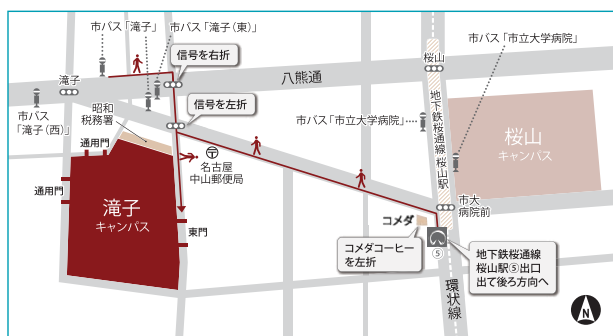
2021年4月より、吉田一彦初代館長から館長を引き継ぎました人間文化研究科の阪井芳貴です。2020年10月末に滝子キャンパスの学生会館2階を改装し大学史資料館が開設され、早くも1年半が経ちました。名市大開学70周年記念事業のひとつとして、短期間のうちに膨大な資料を検証・整理され、資料館を設立された吉田氏のご功績は大なるものがあります。本資料館が開設されたことにより、これまで大学本部をはじめ、各学部・研究科で保管されてきた資料を集約し、今後は名市大全学の財産として、本学の歴史を語り、現在の立ち位置を確認し、さらに将来の発展に資するうえで、この資料館の存在意義はとて大きなものとなるはずで

す。コロナ禍のために、開設のお披露目は規模を縮小したものとなり、まだまだ学内外での認知度は期待値を下回っておりますが、今後は本学の歴史と魅力を発信する拠点として資料館を大いに盛りたてたいと考えております。どうぞよろしくお願いたします。

大学史資料館では今後、阪井教授の授業にて当資料館を学生に見学してもらう機会を設けるなど、「名古屋市立大学史」や「名古屋市史(特に教育史)」への理解をより深められる施設となるよう努めてまいりますので、ぜひ一度お越しください。

利用のご案内 <開館時間> 平日9:00~17:00 <入場料> 無料

#### ■ 滝子キャンパスまでのアクセス図



#### <アクセス>

地下鉄/・桜通線「桜山」駅下車5番出口より徒歩12分  
市バス/・金山駅 金山7番のりばより金山11・12・16「滝子」下車  
・金山駅 金山8番のりばより金山14(桜山経由)「滝子」下車

〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1 名古屋市立大学 滝子キャンパス学生会館2階

#### ■ 大学資料館(学生会館2階)への行き方



大学史資料館 サインボード



大学史資料館 館内

# TOPICS

名古屋市立大学の最近のトピックス・主な出来事をご紹介します。



## 目録贈呈式が行われました

株式会社バッファロー様より、パソコン用充電器のご寄附に係る目録を贈呈いただきました。株式会社バッファロー様は新型コロナウイルス感染症の影響により、授業がオンラインで開催されるなど学生の学習環境が大きく変化している状況において、学生たちが安心して勉学に励むことができるように寄附を行うプロジェクトを設立されており、その一環として本学の学生へもご支援いただきました。贈呈後、郡理事長より感謝の言葉をお伝えしました。

目録贈呈の様子  
 本学 郡理事長(左)、株式会社バッファロー 代表取締役社長(右)



DATE 2022.4.8



大学院 医学研究科 | 名古屋市立大学病院 | 東部医療センター | 西部医療センター

## ようこそ!名市大へ! ~新規採用研修医へ熱いメッセージが寄せられました~

2022年4月8日(金)、初期研修医オリエンテーションの総括としてシンポジウムを開催しました。大ホールに出席した名市大病院の研修医約40名の他に、東部・西部医療センターの研修医や学生を含め約100名がオンラインで参加しました。

第1部はジェネレーション・フォーラムで、卒後15年目前後の新進気鋭の先生方が自らの歩んできた道を語りながら、研修医たちに進むべき道の決め方をアドバイスしました。

第2部はフェアウェル・フォーラムで、郡健二郎理事長、浅井清文学長、高橋智医学研究科長、間瀬光人附属病院院長から人生の岐路に立ったときの経験談が語られました。

なごやかな中にも心に響くメッセージを頂き、研修医たちは夢をもって4月からの研修生活を歩み始めました。



フェアウェル・フォーラムにて研修医へ熱いメッセージを送る郡理事長(左)、浅井学長(右)

DATE 2022.3.10



大学院 芸術工学研究科

## 「TOTOギャラリー・間 レクチャー&シンポジウム」を開催

2022年3月10日(木)、北千種キャンパス大講義室にて、TOTOギャラリー・間の代表: 篠久美子氏と川崎亮氏を講師に招いたレクチャーとシンポジウムを開催しました。1985年設立のTOTOギャラリー・間は、これまで171件もの建築に関わる展覧会を催した建築文化における殿堂的存在であり、本イベントはその殿堂が初めて本拠地の東京乃木坂を離れて大学における教育的視座からの言及を行なった革新的な出来事と言えます。「展覧会が語る建築のエッセンス」と題された2氏によるレクチャーに続いて、芸術工学研究科の久野紀光准教授との鼎談形式で行われたシンポジウムでは、今後の我が国の建築文化発展における教育の重要性や本学が果たすべき役割など、聴講者を巻き込んだ濃密な議論が展開されました。



鼎談形式によるシンポジウムの様子



告知用に制作・デザインされたポスター

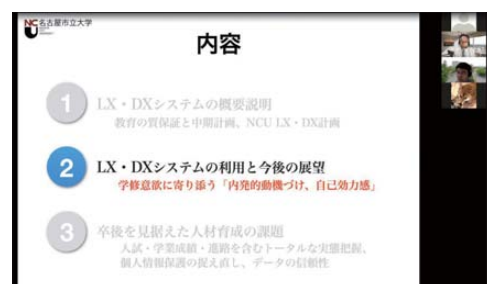
DATE 2022.3.18



## LX・DXシステム導入に関する報告会を開催しました

2022年3月18日(金)、「学生の学修意欲に寄り添うために」をテーマに、LX・DXシステム(※)導入に関する報告会を開催しました。当日は、高等教育院の高石院長、山田教授からLX・DXシステムの概要やLX・DXシステムの利用と今後の展望等について具体例を交えながら報告があり、質疑応答でも活発なやり取りが行われました。また、報告会には学内関係者に加え、他大学をはじめとする高等教育に携わる多くの方々にもご参加いただき、教育への意識を高め、教育の質向上を考える機会となりました。報告会後のアンケートでも「何のためにDXを導入するのか、どういう学生を育てたいのか参考になった」という意見もあり、有意義な時間となりました。

(※)…文部科学省の補助金を利用して導入した分析ツールを中心とするシステムであり、教学IR(教務・学修データの収集、分析、フィードバック)の推進を目的としている。



LX・DXシステム導入に関する報告会の様子

DATE 2022.2.20



## 大学院 芸術工学研究科 ヘルスケアアート・オンライン全国サミットを開催



鈴木賢一教授による実践発表の様子



「ヘルスケアアート宣言2022」に参加者の皆さまからご賛同をいただきました

2022年2月20日(日)、ヘルスケアアートのオンラインサミットを開催しました。ヘルスケアアートとは、アートを活用して健康で持続可能な社会と人々のウェルビーイングを目指す取り組みで、本学では芸術工学研究科 鈴木賢一教授の研究室で20年以上にわたる実績があり、平成30年度からは文化庁の助成を受け人材育成事業に取り組んでいます。その事業の一環として開催した本サミットでは、鈴木賢一教授のほか、アーティストや行政職員、医療施設職員等が登壇し、実践発表やディスカッションを行い、各地の多様な取り組みや広がりを確認しました。最後には「ヘルスケアアート宣言2022」を発表し、この分野をより広げていけるよう全国的なネットワークの構築を呼びかけました。

## 芸術工学部 東部医療センター 西部医療センター 救急車のラッピングをデザインしました



東部医療センターと西部医療センターの救急部から、芸術工学研究科の鈴木賢一教授の研究室に「地域に愛される救急車のラッピングデザイン」の依頼がありました。救急車としての緊急性と地域医療を担う信頼感と愛着をどうデザインするか、現場の職員の皆さんの意見を伺いながらゼミ学生3名と手探りの検討を行い、東部は同じ区内の動物園の人気者、レッサーパンダとロゴマークを用いた蝶々の組合せ、西部(赤ちゃんにやさしい病院)はカンガルーケアから着想を得てカンガルーと2011年に取り組んだヘルスケアアートに用いた三角形の組合せでラッピングデザインを制作しました。街中でレッサーパンダとカンガルーを見かけたら、あたくしかく見守ってください。



ラッピング救急車のお披露目会の様子

DATE 2022.2.15-20



## 芸術工学部 大学院 芸術工学研究科 令和3年度 卒業修了制作展を開催しました

2022年2月15日(火)~20日(日)の間、北千種キャンパスと市民ギャラリー矢田において、芸術工学部4年生と大学院生による卒業修了制作展を開催しました。映像・メディアアート、サウンド、空間、プロダクトデザイン、グラフィック、3DCG、建築、都市計画などの様々なテーマを通して現代社会と都市環境へのデザイン提案を目指した作品を展示しました。コロナ禍での制作は困難でしたが、多くの来場者から好評をいただき、学生時代の集大成となる制作展となりました。



市民ギャラリー矢田の展示会場



北千種キャンパスの展示会場

DATE 2022.2.15



## 大学院 看護学研究科 なごや看護生涯学習公開講演会を開催!



講演会での共有スライド

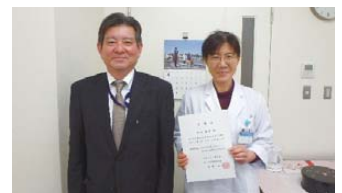
2022年2月15日(火)、北海道医療大学の石垣靖子名誉教授を講師としてお招きし、「ともに歩む」ということ一意思決定を支えるナースの役割」をテーマにご講演いただきました。看護師の役割としてますます重要となる意思決定支援と、そこで直面する臨床倫理に関わる問題は、看護実践における重要かつ難しい課題です。講演会では、「ともに在り」続けながら、「ともに歩み」続けていく意思決定支援について具体的事例を挙げてご説明いただきました。Zoomによる遠隔ライブセミナー形式でのご講演でしたが、わかりやすい説明が参加者にも大変好評で、盛況のうちに終えることができました。

## 大学院 医学研究科 医学研究科 松嶋教授に 愛知県警より感謝状が贈られました!

医学研究科救命救急医療学の松嶋麻子教授は、愛知県警の交通死亡事故抑止アドバイザーとして、交通死亡事故の分析を行い、その結果を県警にフィードバックしてきました。この度、愛知県の交通死亡事故が減少し、全国ワースト1からの脱却に貢献したことが評価され、感謝状が贈呈されました!



贈呈された感謝状



写真左: 愛知県警察交通部長 可児様  
写真右: 医学研究科 松嶋教授



DATE 2022.4.28

## THEインパクトランキング2022のSDG3で全国1位!

2022年4月28日(木)、英国の教育専門誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション(THE)」が発表したTHEインパクトランキング2022において、本学はSDG3「すべての人に健康と福祉を」で全国1位(世界21位)、SDG5「ジェンダー平等を実現しよう」で全国同率1位(世界401-600位)にランクインしました。これは大学の社会貢献の取り組みを国連のSDGs(持続可能な開発目標)の枠組みを使って可視化したランキングです。本学では、今後も世界をリードする大学を目指し、国際社会共通の課題に積極的に取り組んでいきます。



## 芸術工学部 学生との協働による滝子キャンパス駐輪場改修

滝子キャンパスでは、2020年度に実施した総合情報センター山の畑分館入口スペースの改修に引き続き、2022年2~3月にかけて、その入口スペースに繋がる駐輪場と周辺通路の改修と案内板の設置を行いました。改修にあたっては、芸術工学部 鈴木賢一教授とそのゼミ生に協力を依頼し、学生との協働により壁面等のデザイン検討を進めました。学生が考案した「隣接する図書館の入口や樹木の雰



改修後の駐輪場

囲気に調和させたデザイン」により、図書館との一体感が感じられる空間へと一新しました。



鈴木ゼミのプロジェクトメンバー

## 令和4年度 春の叙勲

※五十音順に掲載

このたび3名の本学名誉教授各位が、研究業績等により、瑞宝中綬章を受章されました。ご受章を心よりお祝い申し上げますとともに、今後のご活躍をお祈りいたします。



瑞宝中綬章

清水 興安  
名古屋市立大学 名誉教授



瑞宝中綬章

福吉 勝男  
名古屋市立大学 名誉教授



瑞宝中綬章

安田 秀雄  
名古屋市立大学 名誉教授

## 名誉教授称号授与

以下の各位に、2022年4月1日付で名誉教授の称号が授与されました。専門分野において研究・教育に尽力される一方、本学の発展および管理運営に大きく貢献された各氏に、多年にわたるご尽力を感謝するとともに、今後のご活躍をお祈りします。

医学研究科	木村 和哲 教授	人間文化研究科	奥田 伸子 教授
医学研究科	中西 良一 教授	看護学研究科	堀田 法子 教授
薬学研究科	樋口 恒彦 教授	看護学研究科	山田 紀代美 教授



前列左から山田教授、堀田教授、奥田教授、樋口教授、中西教授、木村教授

## PRIZE 受賞

※受賞期間：2022年2月~3月頃 ※研究科・学部ごと、受賞日順に掲載



### 医学研究科



日本がん・生殖医療学会  
・2021年度学術奨励賞  
・第12回日本がん・  
生殖医療学会学術集会  
優秀演題賞  
臨床薬理学分野 講師  
片岡 智哉

### 芸術工学研究科



NIKKEI脱炭素プロジェクト  
NIKKEI脱炭素アワード プロジェクト部門 大賞  
作品名：「環境への思いをつなぐ  
ーゼロ・カーボン・スクール瑞浪北中学校ー」  
建築都市領域  
尹 奎英 准教授(左)、鈴木 賢一 教授(右)





## 令和3年度 成績優秀者表彰(瑞秀賞)を行いました

2022年5月13日(金)、令和3年度に優秀な成績を修めた学生を表彰する「瑞秀賞」の表彰式が行われ、各学部の受賞者44名に、表彰状と後援会贈呈の記念品が授与されました。今後も学業、そしてさまざまな取り組みに励まれることを期待しています。

■医学部	■薬学部	■経済学部	■人文社会学部	■芸術工学部	■看護学部	■総合生命理学部
岡野 雅斗	今井 悠莉	今井 菜月	川口 実紗	岩崎 真大	大久保 美咲	大竹 裕太
佐野 馨子	魚住 和生	梅田 智也	小竹 若菜	大竹 未来	鈴木 麻由	富永 菜
松井 勇樹	梶田 知江	大山 莞	笹山 春華	川瀬 陽大	西山 佳蓮	林 万柚子
山田 晃也	斎藤 明里	小畑 怜之	志水 万里菜	川原 瑠梨		
	新海 斗馬	川内野 遥	竹田 梨奈	滋野 太貴		
	武田 百佳	坂口 愛佳	鳥井 楓乃	島田 彩矢		
	村林 華	中山 美月	中島 紫桜里	成田 舞子		
		寶門 海	古川 碧惟	吉田 果歩		
		松浦 玄	渡辺 結愛	吉積 怜生		

※敬称略。  
学部ごと、五十音順に掲載。



各研究科長出席のもと、浅井学長から表彰を受けました



左から 笠井翔太さん、中川朝子さん、山田拓仁さん、斎藤俊さん

## 「瑞躍賞」受賞者が決まりました

課外活動や社会貢献活動において、顕著な功績のあった学生や団体を表彰する「瑞躍賞」に、令和3年度は4人が選ばれました。これからも皆さんの活躍を期待しています。

<課外活動部門> ※学年は受賞時

- 笠井 翔太さん(医学部3年) 全日本学生馬術選手権大会出場
- 山田 拓仁さん(経済学部3年) 第19回 キャンパスベンチャーグランプリ全国大会 日本ベンチャーキャピタル協会賞受賞
- 中川 朝子さん(医学部3年) 第8回 星新一賞 学生部門 優秀賞、他文学賞受賞
- 斎藤 俊さん(経済学部2年) そるばん・あんざん中部カップ ONLINE2021 種目別競技 高校・一般の部 1位

## 社会貢献活動を行う学生の成果報告会

### 「名市大LINKtopos」を開催しました

2022年3月25日(金)、社会貢献活動・地域貢献活動を行う学生が、日ごろの活動の成果を発表し、意見交換を行いました。オンライン形式での開催となりましたが、多くの学生が参加し、質疑応答も大変盛り上がりました。この日をひとつのきっかけとし、本学の学生による社会貢献活動が、さらに広がっていくことを期待しています。

※「LINKtopos」とは、東日本大震災の復興支援活動をきっかけに生まれた、社会貢献活動を行う学生たちの全国的な交流活動です。

<学生による発表(一部)>

- 陸前高田市市民派遣団に参加した学生による被災地の「今」についての報告
- 地域の防災力を向上させるための防災マップやラジオドラマ制作についての報告
- 全国LINKtopos運営報告

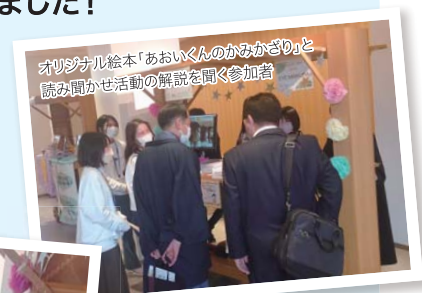


### 経済学部

## アイデア商品の展示即売会「ユースエンタプライズ・トレードフェア」に参加しました!

起業教育の実践発表会として2021年11月21日(日)にオンラインで開催したユースエンタプライズ・トレードフェアの参加者が、2022年3月12日(土)、京都市中京区のQUESTIONビルに集まって、展示販売会を開催しました。本学からは、経済学部3年と4年の学生で組織した「スマイクル」「eaSe」「NICO NICO」の3チームが参加し、各チームとも企業などとコラボして開発したユニークな商品の販売プロモーションを行い、成果を上げました。

- スマイクル** 商品名:『油吸ってポイ』  
(「すてる責任」をひと手間で)
- eaSe** 商品名:『EYE MAKURA』  
(オフィス用品・ほんの一眠り、頑張るあなたに本当の休息を)
- NICO NICO** 商品名:『あおいくんのかみかざり』  
(オリジナル絵本)  
『(自由の薔薇をあしらった) Pullover Sweatshirt』  
(性の多様性を考える by NICO NICO)



「油吸ってポイ」の解説を聞く参加者

オリジナル絵本「あおいくんのかみかざり」と読み聞かせ活動の解説を聞く参加者



学生の受賞

※学年は受賞時

人文社会学部

SDGs IDEA FORUM 2021 優秀賞

『CoCoからマッピング』

＜受賞者＞ チーム名:Co-link(人文社会学部3年・2年)



SDGs IDEA FORUM 2021 授賞式の様子

芸術工学部

大学院 芸術工学研究科

2021MBT映画祭

(奈良県立医科大学主催  
難病克服支援のための映画祭)  
佳作

作品名:Inner child  
(アダルトチルドレン症候群を  
題材にした作品)

＜受賞者＞  
芸術工学研究科 栗原研究室



2021MBT映画祭ウェブサイトより

ポニーキャニオン11月度最優秀アーティスト  
シンガーソングライター/トラックメイカーの  
「pige」として新曲「Cheap Coffee」を  
2月16日に配信リリース

＜受賞者＞  
芸術工学研究科 博士前期課程1年  
高橋 健人 さん



CDジャケット:高橋健人さん作成

2021年度 日本建築学会大会学術講演会 若手優秀発表賞

建築計画部門

組織内における情報共有促進施策の提案:  
組織型/働き方の類型化と類型別の実施策の検討

＜受賞者＞ 芸術工学研究科 博士前期課程1年 野々田 幸恵 さん

建築歴史・意匠部門

戦後日本の住宅作品における軒下の空間緩衝領域の  
空間構成に着目した世代の抽出(2)

＜受賞者＞ 芸術工学研究科 博士前期課程1年 廣瀬 敬 さん



廣瀬敬さん(左)、野々田幸恵さん(右)

2021年度 第92回 日本建築学会  
関東支部研究発表会  
若手優秀研究報告賞

外部空間との関係からみた  
大名家江戸上屋敷の大書院の平面

＜受賞者＞  
芸術工学研究科 博士前期課程2年  
岡田 侑也 さん



第29回 愛知まちなみ建築賞

＜受賞者＞  
芸術工学研究科 博士後期課程3年  
諺口 志保さん



受賞作品「土間の屋根 棲家の床」(中央の建物)  
PHOTO BY YASUKO OKAMURA [株式会社VA]

映像表現・芸術科学フォーラム2022 優秀発表賞(ポスター発表)

「メタバースにおける引退した鉄道車両の動態保存  
および体験の可能性」

＜受賞者＞ 芸術工学部 情報環境デザイン学科4年  
片岡 愛富 さん

「ハプティクスとハンドトラッキングを用いたVR憑依体験」

＜受賞者＞ 芸術工学部 情報環境デザイン学科4年  
寺田 有希 さん

「温感触覚装置を用いてキャラの体温を感じ取ることが  
できるVR乙女ゲーム」

＜受賞者＞ 芸術工学部 情報環境デザイン学科4年  
山中 文乃 さん



左:寺田有希さん 中:山中文乃さん 右:片岡愛富さん  
(アバター姿でバーチャルゼミ室前にて撮影)

日本デザイン学会第3支部研究発表会2021  
優秀発表賞(口頭発表)

「フレイルにある高齢者の自立的生活に関する研究」

＜受賞者＞ 芸術工学部 産業イノベーションデザイン学科4年 織田 麻沙 さん

「テオヤンセンリンク機構から着想を得た手動田植え機の構造研究」

＜受賞者＞ 芸術工学部 産業イノベーションデザイン学科4年 甲斐 翔 さん

「ポスト・スマート時代の製品デザインとその有効性の検証」

＜受賞者＞ 芸術工学研究科 博士前期課程2年 山木 美穂 さん



左:甲斐翔さん 中:山木美穂さん 右:織田麻沙さん

## イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

■内容・場所・申込方法等の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

開催日	内容	時間・場所・費用など	申込方法
9.17 SAT	<b>薬用植物園市民公開講座</b> 内容:薬用植物園で栽培している植物の特徴や利用方法などについて解説します。	午前の部 10:00~12:00 午後の部 13:30~15:30 場所:田辺通キャンパス 費用:500円/人	本学ウェブサイトをご覧ください。 <a href="http://www.phar.nagoya-cu.ac.jp/hp/yse/kokai-j.html">http://www.phar.nagoya-cu.ac.jp/hp/yse/kokai-j.html</a>

## 夏開催 OPEN CAMPUS

オープンキャンパス

学部により、開催方法が異なります。詳細は本学Webサイトをご覧ください。



<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/event/open-campus/>

<b>医学部</b> 8.6 SAT	<b>薬学部</b> 8.6 SAT / 8.7 SUN	<b>経済学部</b> 公開日未定 (Webサイトにて動画公開)	<b>人文社会学部</b> 8.15 MON - 11.30 WED (特設Webサイトを公開)
<b>芸術工学部</b> 8.20 SAT	<b>看護学部</b> 8.23 TUE	<b>総合生命理学部</b> 7.16 SAT	<b>データサイエンス学部 (仮称)</b> 8.20 SAT

## 国際交流



### 国立台北護理健康大学との 学術交流協定を締結しました

2022年3月17日(木)、国立台北護理健康大学(台湾)と学術交流協定を締結しました。オンライン形式にて交流協定締結式が開催され、両大学の学長はじめ、関係者が出席しました。国立台北護理健康大学の呉淑芳(ウー・シュー・ファン)学長は、「ウィンウィンの関係を築いていけることを確信している」、本学の郡理事長・学長は、「分野を問わず、大学全体として実りのある今後の交流に期待する」と述べました。

また締結式後には、先方大学の「研究開発センター」と本看護学研究科の共催により、オンラインセミナーが開催され、それぞれの大学の教員と博士課程学生が発表を行いました。セミナーには双方の教員と学生が多数参加し、大変実りのあるものとなりました。今後ますますの交流が期待されます。



協定締結式の様子

### 駐日ルーマニア大使が来訪!

2022年5月25日(水)、オヴィディ・ドラング駐日ルーマニア特命全権大使一行が本学を表敬訪問されました。同国のブカレスト工科大学と本学芸術工学部は、2019年に学部間交流協定を締結していることから、同校の卒業生であるドラング氏は、浅井学長、横山副学長、芸術工学研究科の辻村教授らと、学術交流などの意見交換を行い、親睦を深めました。



駐日ルーマニア大使訪問の様子

### 開学70周年記念事業へのご寄附ありがとうございました

- 個人 1万円以上 渡邊 清子 様  
非公表 薊 隆文 様、石原 英子 様
- 団体 100万円以上 株式会社ノリタケカンパニーリミテド 様

- 開学70周年記念事業 レンガメモリアル (2020年4月~2021年3月)  
石原 治 様、鹿毛 玲央奈 様、大衆文化研究会 様、  
平成30年度 校友会執行役員 様、水谷 龍南 様  
他、多数の方々にご参加頂きました。

### 寄附顕彰

#### 大学振興基金

- 個人 1万円以上 渡邊 安曇 様  
非公表 伊藤 直樹 様、荻野 英朗 様、  
小林 いく子 様

#### 名古屋市みらい応援基金

- 個人 5万円以上 絹川 敬吾 様  
5千円以上 樋澤 吉彦 様  
非公表 石原 治 様
- 団体 非公表 一般社団法人  
インフォカート未来基金 様

※五十音順。2022年1月1日から3月31日までに寄附をいただき、公表に同意された方。※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。※古本募金により寄附をいただいた方につきましては、連携会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。



### 【SDGsのアイコン(1~17のGOAL)】

SDGsとは「Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標」の略称で、17のGOALが設定されています。本学もSDGs達成に向けた活動を推進しているため、関連するGOALのアイコンを各記事に表示しています。

**募集中!** 広報誌「創新」のご意見・ご感想などをぜひ総務部 広報室までお寄せください!

▶▶▶ E-mail : [ncu\\_public@sec.nagoya-cu.ac.jp](mailto:ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp)

●本誌掲載の写真の一部は、撮影時のみマスクを外しております。